

# 金光先生 おすすめ本

## 『文車日記 私の古典散歩』

田辺 聖子／著 新潮社 (1974)

万葉集、源氏物語から聖書の文語訳に至るまで、美しい日本語で綴られた愛すべき古典の数々を、筆者独特のこまやかな感性で紹介したエッセイ集。

## 『源氏物語論』

清水 好子／著 塙書房 (1966)

光源氏の須磨退居は、中国古代の聖人・周公東遷の故事を踏まえている。和漢の史書を駆使し、源氏物語の骨組みを壮大なスケールで解き明かした名著。

## 『百人一首』(新版)

島津 忠夫／著 角川ソフィア文庫 (1999)

古来さまざまな解釈がなされてきた百人一首の歌々を、撰者定家はどのように読んでいたかにこだわりつつ、簡潔平明に解説した入門書。

## 『藤原定家』

久保田 淳／著 ちくま学芸文庫 (1994)

変動の時代に生き、和歌の世界に新風を巻き起こした藤原定家。その生涯を豊富な和歌の引用と日記から読み解き、人間定家の実像を明らかにする。

